

AIの類推能力に注目した 判例検索用キーワードの追加選定方法について

— 自然言語処理ライブラリ GiNZA を用いて (続) —

関 本 大 樹

目次

はじめに

- 1 固有表現抽出モデルの全般的な性質
- 2 トレーニング回数とバッチサイズの類推性能への影響
- 3 統計的手法による類似度の分析方法
- 4 分析結果

おわりに

【別資料1】分析結果 (その1)

【別資料2】分析結果 (その2)

はじめに

前稿「判例検索用キーワードの十分性に係る AI を利用した検討方法について—自然言語処理ライブラリ GiNZA を用いて」(久留米大学法学第 88号所収)では、AI 技術を応用した日本語自然言語処理オープンソースライブラリ「GiNZA」(ギンザ)の固有表現抽出機能を日本税理士連合会の運営する租税判例検索システムである「税理士情報ネットワークシステム」(以下「TAINS」という。)において判例等の検索用に設定されている「TAINS キーワード」の十分性を検討するための活用方法について紹介した。具体的には、TAINS キーワードを敢えて固有名詞や数詞などの固有表現とみなして GiNZA の「固有表現抽出モデル」を適用することによって判示事項等の要約情報で用いられている種々の用語を既存の TAINS キーワードとの類似度及び認識頻度に応じて「5 分割分析表」に

分類・整理し、同分析表を用いて、TAINS キーワードとしては未設定であるものの、既存の TAINS キーワードの用法に一定の類似性が認められる用語（以下「非 TAINS キーワード」という。）について、TAINS キーワードとしての追加選定のための洗い出しを行うものであった。なお、学習していないデータに対しても学習したデータから類推して正しい答えを返す AI の能力は、「汎化能力」(generalization ability) といわれ、GiNZA が基盤としている AI 技術である深層ニューラルネットワークは、汎化能力が高いといわれている⁽¹⁾。

本稿は、前稿での 5 分割分析表による、定量的というよりは、むしろ定性的な傾向分析結果を踏まえつつ、出来るだけ定量的に TAINS キーワードとしての追加選定の必要度を評価する方法について検討するものである。特に、上記の固有表現抽出モデルは、具体的な事例に基づくトレーニングによる機械学習を通じて洗練されるものの、当該トレーニングは、そもそも乱数を用いた再現性のない性格のものであり、安定的かつ一定の信頼性のある判定を行うためには、体系的な複数の試行に基づく統計的な手法を用いる必要がある。

例えば、前稿において TAINS キーワードではない「中古不動産売買」を従来型のキーワード指定方法である「固定的ルール方式」で認識させると、TAINS キーワードである「不動産売買」が優先的に認識されて「中古」と「不動産売買」とに意味的には不適切に分割認識されるのに対して、固有表現抽出モデルを用いた「抽出モデル方式」では、意味的にはより適切な「中古不動産」と「売買」に分割して認識される場合があることについて紹介した。しかし、その結果自体も当該方式で用いる固有表現抽出モデル自体のトレーニング方法によって異なるため、当該結果が偶然の結果であるのか、あるいは、一定の再現性のある結果であるのかを判定することも単純にはできない。

そこで、本稿では、上記のような追加選定のための判定を出来る限り安

(1) 内田誠一「データ・AI 利活用の最新動向」北川源四郎ほか編『教養としてのデータサイエンス』（講談社・2021年）122頁参照。

定的かつ定量的に行うため、同一の文章を同様なトレーニングを行った複数のモデルによって体系的に複数回認識させ、それら複数回の認識結果の平均的な振舞いに基づいて判定するという、後述のような統計的な手法について紹介することとしたい。

1 固有表現抽出モデルの一般的な性質

(1) 一般的傾向

前稿でも述べたが固有表現抽出モデルの振舞いは、主に二つの要因によって影響を受ける。一つ目の要因は、トレーニング回数であり、一般的にはトレーニング回数が多いほど、固有表現の抽出精度が向上する。つまり、トレーニング用データにおける固有表現の出現パターンの機械学習が進み、固有表現ではない用語（トークン列）の抽出を避けることができる。

また、二つ目の要因は、トレーニング用データに含まれる用語間の関係性を分析する単位であるミニバッチのサイズである。固有表現の機械学習では、トレーニング用データに基づいて、「エポック」と呼ばれる1回分のトレーニングが複数回繰り返し行われるが、各エポックにおいては、「ミニバッチ」と呼ばれる限られた件数のトレーニング用データの区分の内部でのみ用語間の関連性等が機械学習される。ただし、次のエポックに移行する際には、各ミニバッチのトレーニング用データの組合せは全面的にかつランダムに洗替えされ、新たなトレーニングに用いられることになる。つまり、ある用語があるエポックではたとえ特定の用語と同じミニバッチに属さない用語であったとしても、トレーニングが繰り返し行われる中で、同じミニバッチに属する用語となり得るため、それらの関係性についても一定の機械学習が行われる可能性が高くなるわけである。

したがって、一般的な傾向として、トレーニング回数が少なければ、いわずに固有表現の判定のピントが甘くなって、TAINS キーワードとの類似度が乏しいものであっても固有表現として抽出され易くなり、他方、トレーニング回数が増えるにつれて、むしろ固有表現の判定のピントが厳し

くなって、類似度の低い用語が抽出されにくくなる。

また、ミニバッチのサイズが大きくなると、ミニバッチのサイズが小さい場合に比べて、特定の用語と他の用語が同じミニバッチに属する可能性が高まり、各用語間の関係性に係る機械学習がより広範に行われることになることから、TAINS キーワードとしての判定のピントがむしろ甘くなってしまい、たとえ TAINS キーワードを含むようなトークン列であっても分離されずに一体の固有表現として抽出されたり、TAINS キーワードとの類似性が必ずしも明確ではないトークン列であっても類似した固有表現として抽出され易くなったりする傾向がみられる。

(2) 統計的分析手法

それでは、固有表現抽出モデルに上記(1)で述べたような傾向ないし類推能力があることを下記2において具体例によって示すこととしたい。すなわち、ミニバッチのバッチサイズを固定した上で、トレーニング回数を徐々に増加させた場合に具体的な固有表現の抽出状況がどのように変化するか観察した上で、更にバッチサイズを変化した場合に、当該結果がどのように変化するか観察してみることとしたい。しかるに、上記「はじめに」で述べたような統計学的な理由から、同じバッチサイズで段階的にトレーニング回数を増やしながら同じ回数ごとに繰り返しトレーニングを行った複数の固有表現抽出モデル（以下「段階的抽出モデル」という。今回の場合、取り敢えずそれぞれの段階的なトレーニング回数ごとに13件ずつとした。）を用いて、それらの振舞いを統計的に観察してみることとする。

なお、固有表現の抽出対象は、前稿でも取り上げたが、住宅用賃貸部分を含む中古建物の用途区分に関連した消費税の更正処分に係る過少申告加算税について、その免除要件である「正当な理由」の有無が争われた最判令和5年3月6日（ムゲンエステート事件判決・TAINS Z 8 8 8 - 2 4 8 1）の次の判示事項である。ただし、分析対象となるトークン列を調整するため冒頭の下線部分を加筆・修正してある⁽²⁾：

(2) 原文では、「1 本件は、不動産の買取再販売等を行う株式会社である被告人が…」とされており、傍点も付されていない。

- 1 本件は、中古不動産売買及び買取再販売等を行う株式会社である被上告人が、…
転売目的で、全部又は一部が住宅として賃貸されている建物の購入をし、これに係る消費税額の全額を控除対象仕入税額として申告をしたところ、日本橋税務署長から、その全額を控除することはできないとして更正処分及び過少申告加算税の賦課決定処分を受けるなどしたことから、上告人を相手に、各更正処分のうち申告額を越える部分及び各賦課決定処分の取消し等を求める事案である。

2 トレーニング回数とバッチサイズの類推性能への影響

(1) 試行結果の概要

上記1の(2)で説明した試行結果を一覧表にしたものが図表1「トレーニング回数とバッチサイズによる抽出結果(その1)」及び図表2「トレーニング回数とバッチサイズによる抽出結果(その2)」である。なお、図表1は、固定的ルール方式並びに抽出モデル方式でバッチサイズ(BSLs)を512件及び1,024件とした場合の特定のトークン列の抽出状況についてトレーニング回数(TELs)を10回から500回まで段階的に増加させて示したものであり⁽³⁾、図表2は、抽出モデル方式でバッチサイズを2,048件、4,096件及び8,192件とした場合の特定のトークン列の抽出状況について同様に示したものである。

そして、図表1及び2において、注目した特定のトークン列は、上記1の(2)に示した判示事項中で傍点を付した「中古不動産売買」、「買取再販売」及び「転売目的」の三つのトークン列であって、それらのトークン列を構成する各トークンがどのような組み合わせの場合に各固有表現抽出モデルにより固有表現、すなわち、TAINSキーワードとして認識されたのか、その該当件数を示している。

例えば、図表1において、固定的ルール方式(「by_rules」欄)では、

(3) ここで、「BSLs」は、Batch Size Levels、「TELs」は、Training Epochs Levelsを表しているが、飽くまでも本稿での便宜的な呼称である。また、「段階的抽出モデル」(Stepwise NLP)についても、「SNLP」ということがあるが同様である。

22 研究ノート

BSLs		by_rules										512										1024																
トークン列	T/N	中古不動産売買	中古不動産	不動産中古	不動産売買	売買	買取再販売	買取	再販売	転売目的	転売	目的	SNLP数	中古不動産売買	中古不動産	不動産中古	不動産売買	売買	買取再販売	買取	再販売	転売目的	転売	目的	SNLP数	中古不動産売買	中古不動産	不動産中古	不動産売買	売買	買取再販売	買取	再販売	転売目的	転売	目的	SNLP数	
		N	N	T	T	T	N	N	T	T	T	T	T	N	N	T	T	T	N	N	T	T	T	T	T	N	N	T	T	T	N	N	T	T	T	T		
TELS	10			13	13							13	13											13	13										13	13		
	20			13	13							13	12	1										13	13										13	13		
	30			13	13							13	11	2										13	13										13	13		
	40			13	13							13	7	6										13	13										13	13		
	50			13	13							13	10	3										13	13										13	13		
	60			13	13							13	10	3										11	13										13	13		
	70			13	13							13	10	3										11	1	13									12	13		
	80			13	13							13	12	1										9	3	13									10	13		
	90			13	13							13	10	3										7	4	13									11	2		
	100			13	13							13	10	3										7	4	13									9	2		
	110			13	13							13	9	4										5	5	13									7	2		
	120			13	13							13	8	5										4	8	13									7	3		
	130			13	13							13	11	2										7	5	13									4	7		
	140			13	13							13	9	3	1	1								1	8	13									4	6		
	150			13	13							13	10	3										3	9	13									2	8		
	160			13	13							13	10	3										5	8	13									2	9		
	170			13	13							13	9	3	1	1								4	8	13									3	8		
	180			13	13							13	10	3										1	10	13										3	9	
	190			13	13							13	9	3	1	1								1	11	13									2	9		
	200			13	13							13	9	4										1	12	13									4	8		
	210			13	13							13	9	3	1	1								1	12	13									3	10		
	220			13	13							13	9	4										2	9	13									1	12		
	230			13	13							13	8	4	1	1								1	11	13									2	11		
	240			13	13							13	8	5										2	1	11	13									13	13	
	250			13	13							13	7	6										1	13	13										13	13	
	260			13	13							13	7	5	1	1									13	13										13	13	
	270			13	13							13	10	2	1	1								1	12	13										13	13	
	280			13	13							13	6	5	2	2	1								13	13											13	13
	290			13	13							13	6	5	2	2									13	13											13	13
	300			13	13							13	7	5	1	1									13	13											13	13
	310			13	13							13	7	4	2	2									13	13										1	12	
	320			13	13							13	7	5	1	1	2								12	13											13	13
	330			13	13							13	9	3	1	1	1							1	12	13										1	12	
	340			13	13							13	6	5	2	2	1								13	13											13	13
	350			13	13							13	8	2	3	3									13	13										1	12	
	360			13	13							13	7	4	2	2	2	1							12	13										13	13	
	370			13	13							13	6	6	1	1	3								12	13										13	13	
	380			13	13							13	8	3	2	2								1	12	13										13	13	
	390			13	13							13	6	5	2	2	1								12	13										1	12	
	400			13	13							13	7	4	2	2	1								13	13										1	12	
	410			13	13							13	7	5	1	1	3								13	13											13	13
	420			13	13							13	8	3	2	2	2								13	13										1	13	
	430			13	13							13	5	6	2	2	2								13	13											13	13
	440			13	13							13	7	4	2	2									13	13										1	12	
	450			13	13							13	8	3	2	2	2								13	13											13	13
	460			13	13							13	8	3	2	2	1								13	13										1	12	
	470			13	13							13	7	5	1	1	1								13	13											13	13
	480			13	13							13	9	3	1	1									13	13											13	13
	490			13	13							13	9	2	2	2	1								13	13											13	13
	500			13	13							13	7	5	1	1	3								13	13										1	13	

図表1 トレーニング回数とバッチサイズによる抽出結果 (その1)

BSLs		2048											4096											8192																
トークン列	T/N	中古不動産売買	中古不動産	不動産売買	中古	不動産	売買	買取再販売	買取	再販売	転売目的	転売	目的	S N L P 数	中古不動産売買	中古不動産	不動産売買	中古	不動産	売買	買取再販売	買取	再販売	転売目的	転売	目的	S N L P 数	中古不動産売買	中古不動産	不動産売買	中古	不動産	売買	買取再販売	買取	再販売	転売目的	転売	目的	S N L P 数
		N	N	T	T	T	T	N	N	T	T	T	T	T	N	N	T	T	T	T	N	N	T	T	T	T	T	N	N	T	T	T	T	N	N	T	T	T	T	T
	10	11	2				2	13			13		13	2	11				4	1			13		13	12					12	1	6		13		13		13	
	20	13						13			13		13	11	2				2	13			13		13	13								13		12		13		
	30	13						13			13		13	13	13					13			13		13	13								13		13		13		
	40	13						13			13		13	13	13					13			13		13	13	11	2			2	13		13		13		13		
	50	13						13			13		13	13	13					13			13		13	13								13		13		13		
	60	13						13			13		13	13	13					13			13		13	13								13		13		13		
	70	13						13			13		13	13	13					13			13		13	13								13		13		13		
	80	11	2					13			13		13	13	13					13			13		13	13								13		13		13		
	90	13						13			13		13	12	1					13			13		13	13								13		13		13		
	100	13						13			13		13	13	13					13			13		13	13								13		13		13		
	110	13						12	1	13		13	13	13	13					13			13		13	13								13		13		13		
	120	13						10	1	13		13	11	2				1	13			13		13	13									13		13		13		
	130	13						11	1	13		13	10	3					13			13		13	13	12	1						13		13		13			
	140	13						7	4	13		13	12	1					13			13		13	13									13		13		13		
	150	13						11	2	13		13	11	2					13			13		13	13									13		13		13		
	160	13						9	3	13		13	10	3					12			13		13	13									13		13		13		
	170	13						8	4	13		13	11	2				1	12			13		13	13									13		13		13		
	180	13						8	4	13		13	11	2				1	13			13		13	12	1								13		13		13		
	190	12	1					6	5	13		13	10	3				1	11			13		13	13									13		13		13		
	200	13						6	5	13		13	10	3				1	12			13		13	13									13		13		13		
	210	13						6	6	13		13	10	3				1	11			13		13	13									13		13		13		
	220	13						7	5	13		13	10	3				1	11			13		13	13									13		13		13		
	230	13						8	3	13		13	10	3				1	10		1	13		13	13									13		13		13		
	240	12	1					3	9	13		13	11	2				1	10			13		13	13									13		13		13		
TELs	250	12	1					6	5	13		13	9	4				1	10		2	13		13	12	1							13		13		13			
	260	11	2					5	8	13		13	10	3				1	10		2	13		13	13									13		13		13		
	270	12	1					3	9	13		13	9	4				1	10		2	13		13	12	1								13		13		13		
	280	12	1					4	8	13		13	10	3				1	10		2	13		13	13									13		13		13		
	290	13						3	9	13		13	9	4				1	9		2	13		13	12	1								13		13		13		
	300	11	2					4	8	13		13	11	2				1	7		4	13		13	12	1								13		13		13		
	310	10	3					4	9	13		13	10	3				1	8		3	13		13	12	1								13		13		13		
	320	11	2				1	3	10	13		13	10	3				1	8		4	13		13	12	1						12		13		13		13		
	330	12	1					3	10	13		13	9	4				1	8		4	13		13	12	1							13		13		13			
	340	12	1					4	9	13		13	9	4				1	9		3	13		13	12	1							13		13		13			
	350	11	2				1	2	11	13		13	9	4				1	8		4	13		13	12	1						12		13		13		13		
	360	12	1					2	10	13		13	10	3				1	5		6	13		13	12	1						12		13		13		13		
	370	13						2	11	13		13	8	5				1	8		5	13		13	12	1						12		13		13		13		
	380	11	2				1	3	10	13		13	9	4				1	8		4	13		13	12	1				1	12			13		13		13		
	390	11	2				1	2	11	13		13	8	5				1	5		7	13		13	12	1					1	12		13		13		13		
	400	11	2				1	4	9	13		13	9	4				1	6		7	13		13	12	1					12		13		13		13			
	410	10	3				1	4	9	13		13	10	3				1	5		7	13		13	12	1					1	12		13		13		13		
	420	11	2				1	2	11	13		13	9	4				1	4		8	13		13	12	1					12		1	13		13		13		
	430	11	2				1	4	9	13		13	9	4				2	5		7	13		13	12	1					12		13		13		13			
	440	11	2				1	3	10	13		13	8	5				2	5		6	13		13	12	1					1	10		1	13		13			
	450	11	2				1	3	10	13		13	8	5				2	4		7	13		13	12	1					11		1	13		13		13		
	460	11	2				1	2	11	13		13	8	5				1	4		7	13		13	12	1				1	11		13		13		13			
	470	11	2				2	2	11	13		13	9	4				2	3		7	13		13	12	1					11		1	13		13		13		
	480	11	2				1	2	11	13		13	10	3				2	4		7	13		13	12	1				1	10		2	13		13		13		
	490	11	2				2	2	11	13		13	7	6				2	3		9	13		13	12	1					11		1	13		13		13		
	500	11	2				2	3	10	13		13	7	5		1		2	4		8	13		13	12	1					9		4	13		13		13		

図表 2 トレーニング回数とバッチサイズによる抽出結果 (その2)

全ての TELs に係る全13回の試行においてトークン列「中古不動産売買」については、TAINS キーワードである「中古」と「不動産売買」に優先的に分割されてしまい、すなわち、結果的に誤認識されていることが分かる。なお、異なった段階的抽出モデルによる全試行回数（すなわち、「SNLP 数」欄に表示されている13回）全てで当該トークン列が抽出された欄については判別し易いように網掛けがしてある。

また、トークン列「買取再販売」についても、全ての試行結果において TAINS キーワードである「再販売」部分のみが TAINS キーワードとして認識され、TAINS キーワードではない「買取」は無視されている。他方、トークン列「転売目的」については、全ての試行で TAINS キーワードである「転売目的」として正しく認識され、同様に TAINS キーワードである「転売」と「目的」に分割して誤認識されてしまうようなことはない。

（2）抽出モデル方式におけるバッチサイズによる抽出結果の相違点

固定的ルール方式では、その名の示すとおり、上記（1）で例として紹介したように何度試行を行っても抽出結果は安定している。一方、抽出モデル方式では、一般的にトレーニング回数（TELs）が増加するほど、各トークン列に含まれている、TAINS キーワードである個々のトークンが固有表現として認識される傾向がある。例えば、図表1でバッチサイズが512件（「BSLs」欄が「512」の欄）の場合でみると、TELsが10回の場合には、トークン列「中古不動産売買」が一体として全ての SNLP で固有表現として認識されるのに対して、TELsが500回の場合には、全13回の試行うち、7回は同様に認識されるものの、TAINS キーワードではない「中古不動産」と TAINS キーワードである「売買」に分割して固有表現として認識されたのが3回、そして、「中古不動産」のみが固有表現として認識されたのが2回、固定的ルール方式と同様に共に TAINS キーワードである「中古」と「不動産売買」とに分割して固有表現として認識されたのが1回と解される。しかし、そのように既存の TAINS キーワードに認識方法が傾斜してしまう、あるいは、影響を受けやすい傾向は、BSLsが512件の場合が最も強く、BSLsが大きくなるに従って、弱くなる傾向に

ある。例えば、図表2においてBSLsが8192件の場合には、TELsが500回のときでも、TAINSキーワードではない「中古不動産」としては1回、そして、そのほかの12回については「中古不動産売買」として一体的に認識され、いずれにしても、それぞれがTAINSキーワードではあるものの、意味的には不適切である「中古」と「不動産売買」とには分割されず、妥当に認識されていることが分かる。なお、TELsが10回のときのみ、それぞれがTAINSキーワードである「中古」、「不動産」そして「売買」の三つに分割して認識されているが、これはトレーニング回数がバッチサイズに比較して大変少ないことが影響してTAINSキーワードとしての認識のピントがよりきつくなったためと考えられよう。

他方、そもそもTAINSキーワードであるトークン列「転売目的」の場合には、固定的ルール方式と同様に、トークン列を構成するTAINSキーワードである「転売」と「目的」に分割して認識されることはなく、上記と同様にBSLsが8192件の場合においてTELsが10回と20回のときのみを例外として、全てのBSLsの各TELsにおいて一体の「転売目的」という固有表現として認識されている。これは、「転売」単体と「転売」と「目的」が連結して「転売目的」として用いられる場合とを比較すると、むしろ後者の方がより多い使用形態であることを示しているといえよう。

それでは、TAINSキーワードとしては未登録であるトークン列「買取再販売」の場合はどうであろうか。前稿で述べたように、取り敢えず「買取再販売」というトークン列が新たなTAINSキーワードとして登録される価値のある非TAINSキーワードであると仮定した上で、各固有表現抽出モデルによって、どのように認識され得るのかを検討してみたい。そこで、傾向等がより分かり易いように図表1及び2から該当部分のみを抜粋して一覧表にした図表3『買取再販売』の各抽出モデルによる認識状況に基づいて以下検討する。

（3）トークン列「買取再販売」に注目した分析結果

まず最初に、図表3において太線で囲んだ枠が四つあるが、それらに対応する固有表現抽出モデルは、前稿において「5分割分析表」を作成する

BSLs		by_rules			512			1024			2048			4096			8192			
トークン列		買取再販売	買取	再販売	買取再販売	買取	再販売	買取再販売	買取	再販売	買取再販売	買取	再販売	買取再販売	買取	再販売	買取再販売	買取	再販売	
T / N		N	N	T	N	N	T	N	N	T	N	N	T	N	N	T	N	N	T	
TELS	10			13	13			13			13			1					13	
	20			13	13			13			13			13					13	
	30			13	13			13			13			13					13	
	40			13	13			13			13			13					13	
	50			13	13			13			13			13					13	
	60			13	11			13			13			13					13	
	70			13	11		1	12			13			13					13	
	80			13	9		3	10		1	13			13					13	
	90			13	7		4	11		2	13			13					13	
	100			13	7		4	9		2	13			13					13	
	110			13	5		5	7		2	12		1	13					13	
	120			13	4		8	7		3	10		1	13					13	
	130			13	7		5	4		7	11		1	13					13	
	140			13	1		8	4		6	7		4	13					13	
	150			13	3		9	2		8	11		2	13					13	
	160			13	5		8	2		9	9		3	12					13	
	170			13	4		8	3		8	8		4	12					13	
	180			13	1		10	3		9	8		4	13					13	
	190			13	1		11	2		9	6		5	11					13	
	200			13	1		12	4		8	6		5	12					13	
	210			13	1		12	3		10	6		6	11					13	
	220			13	2		9	1		12	7		5	11					13	
	230			13	1		11	2		11	8		3	10			1		13	
	240			13	1		11			13	3		9	10					13	
	250			13			13			13	6		5	10		2			13	
	260			13			13			13	5		8	10		2			13	
	270			13	1		12			13	3		9	10		2			13	
	280			13			13			13	4		8	10		2			13	
	290			13			13			13	3		9	9		2			13	
	300			13			13			13	4		8	7		4			13	
	310			13			13	1		12	4		9	8		3			13	
	320			13			12			13	3		10	8		4			12	
	330			13	1		12	1		12	3		10	8		4			13	
	340			13			13			13	4		9	9		3			13	
	350			13			13	1		12	2		11	8		4			12	
	360			13	1		12			13	2		10	5		6			12	
	370			13			12			13	2		11	8		5			12	
	380			13	1		12			13	3		10	8		4			12	
	390			13			12	1		12	2		11	5		7			12	
	400			13			13	1		12	4		9	6		7			12	
	410			13			13			13	4		9	5		7			12	
	420			13			13			13	2		11	4		8			12	1
	430			13			13			13	4		9	5		7			12	
	440			13			13			12	3		10	5		6		10		1
	450			13			13			13	3		10	4		7		11		1
	460			13			13	1		12	2		11	4		7		11		
	470			13			13			13	2		11	3		7		11		1
	480			13			13			13	2		11	4		7		10		2
	490			13			13			13	2		11	3		9		11		1
	500			13			13			13	3		10	4		8		9		4

図表3 「買取再販売」の各抽出モデルによる認識状況

際に基準となったバッチサイズとトレーニング回数のモデルである。すなわち、前稿の5分割分析表では、実際にはTAINSキーワードではないトークン列がTAINSキーワードに相当する固有表現とみなされて抽出される場合に、当該トークン列を「非TAINSキーワード」と呼んだ上で、当該非TAINSキーワードが抽出される程度が小さい固有表現抽出モデルから、逆に抽出される程度が大きい固有表現抽出モデルまで、具体的には「1000_512モデル」、「500_1024モデル」、「200_2048モデル」、「100_4096モデル」そして「50_8192モデル」の順で、初出する非TAINSキーワードを一覧表に整理してみたが、それらの五つの固有表現抽出モデルのうち範囲外となる1000_512モデルを除いた四つについてその該当箇所を表示している。

非TAINSキーワードである「買取再販売」が初出するのは、前稿で紹介したように「200_2048モデル」であったが、図表3からは、確かにそれより前の「1000_512モデル」及び「500_1024モデル」では、TELsが高々460回ほどで抽出回数がなくなり、ほぼ確実に抽出されないことが理解できる。また、「200_2048モデル」、「100_4096モデル」及び「50_8192モデル」では、図表3において、それぞれTELsが100回又は50回の全てのSNLPsで13回全ての抽出が行われており、ほぼ確実に「買取再販売」が非TAINSキーワードとして抽出されることも理解できよう。しかし、図表3からは、「200_2048モデル」にあっては、TELsが200回では、「買取再販売」が当該SNLPsのうち6モデルにおいてのみ抽出されており、仮に前稿でたまたま採用した200_2048モデルが今回の残りの7モデルと同様なものであったとすれば、むしろ「再販売」が抽出され、「買取再販売」が抽出されなかった可能性も大いにあったことが理解できよう。

以上のとおり、特定のモデルのみを用いて何らかの確定的な判定を行うことによっては、特に当該モデルが当該判定対象について不安定な場合には、誤った結論が導かれる可能性があるわけである。したがって、そのようなモデルの不安定性の影響を回避するためには、やはり、上記「はじめに」で述べたように、何らかの統計的手法により、出来る限り多くのモデ

ルを参照し、それらの結果を総合的に吟味することにより判定を行う必要があるものと考えられる。そこで、下記3において、そのような観点から任意の非 TAINS キーワードと TAINS キーワードとの類似性を判定するためのより具体的な統計的手法について検討することとしたい。

3 統計的手法による類似度の分析方法

(1) 分析方法の概要

統計的手法による既存の TAINS キーワードとの類似度の分析方法には、いろいろな着眼点があるものと考えられるが、本稿では、前稿で注目した「買取再販売」というトークン列のトークン列としての構造に着目することとしたい。すなわち、「買取再販売」というトークン列は、「買取」という非 TAINS キーワードであるトークンと「再販売」という TAINS キーワードであるトークンで構成されており、さらに、上記2の(3)で分析したように、図表3からは、ほぼ全てのBSLsにおいて、TELsの回数が少ないうちは「買取再販売」が一体の固有表現として抽出されるものの、TELsの回数が多くなるに従って一体の固有表現としては抽出されなくなり、非 TAINS キーワードである「買取」と TAINS キーワードである「再販売」に分割して抽出されるようになる傾向がある。したがって、このような振舞いと同様な振舞いをするようなトークン列の有無について、今回検討対象とした判例等の全ての概要情報等を網羅的に再検討することにより、「買取再販売」と同程度の妥当性が窺える TAINS キーワード候補を見付け出せるか試してみることにしたい。

(2) 具体的な抽出方法

上記(1)で述べた「買取再販売」に類似したトークン列を抽出する具体的な手順は、次のとおりである：

- ① 「1000_512モデル」、「500_1024モデル」、「200_2048モデル」、「100_4096モデル」そして「50_8192モデル」の順で、当該モデルによって各概要情報等から認識される固有表現を当該固有表現が使用されてい

る文脈（コンテキスト）とともに抽出する。なお、当該処理は、年分の古い概要情報等からより新しいものへ行う（なお、各年分内では必ずしも日付順ではないが、処理される順番自体は各モデルで一定である。）が、できるだけ簡略化するため、各モデルで初出の固有表現のみを採用し、同じモデル内での重複分は無視する。したがって、上記の五つのモデルのいずれかで抽出されない限り、当該固有表現が「買取再販売」との類似性の検討対象とされることはない。

②上記①で抽出された各固有表現のうち、当該固有表現が使用されている文脈について汎用の「ja_ginza_electra」モデルによってトークンに再度分割しなおした上で、先頭のトークンと2番目のトークンに着目し、先頭のトークンが非TAINSキーワードであり、2番目のトークンがTAINSキーワードである固有表現のみを抽出する。なお、「ja_ginza_electra」モデルを用いてトークンに再分割した理由は、同モデルによってトークン分割した場合には、「買取再販売」が「買取」と「再販売」の二つのトークンに分割され、「買取」、「再」及び「販売」のように更に細分化されない点に着目したものであるが、抽出された固有表現が必ずしも二つのトークンに分割されるわけではなく、三つ以上に分割される場合も多い。なお、そのような場合には3番目以降のトークンは無視する。

③上記②で抽出された固有表現が使用されている各文脈に対して、BSLsが512件、1024件、2048件、4096件及び8192件の五つの場合全てについて、TELsが50回、100回、150回、200回、250回、300回、350回、400回、450回及び500回（計10段階）に限って各10件の異なったSNLPを適用し当該固有表現が抽出対象となるSNLPの件数をカウントする。つまり、一つの候補となる固有表現に対して総数では500件（5BSLs×10TELs×10SNLPs）のSNLPsが適用されることになる。なお、TELsの段階数や各段階におけるSNLPsの適用数を利用可能なもの（それぞれについて50段階と13件）以下に制限した理由は、処理の効率化のためである。

④上記③の処理結果をトークン列「買取再販売」の場合と比較して、類似の傾向のものに絞り込みを行い、最終的な候補とすべき非 TAINS キーワードを抽出する。なお、上記③の分析の結果「買取再販売」については、BSLs が512件、1024件、2048件、4096件及び8192件である各100件の SNLPs のうち抽出対象となるものの件数（割合）がそれぞれ12件（12%）、19件（19%）、38件（38%）、51件（51%）及び76件（76%）となることが分かっている。そのため、これらの値を基準として抽出対象となる SNLPs の割合（以下、単に「抽出件数割合」という。）との開差が一定範囲内である固有表現を「買取再販売」と一定の類似性がある非 TAINS キーワードとみなして分析結果とする。

4 分析結果

(1) 概要

上記3の(2)で述べた具体的な抽出方法によって、その②までのいわば定性的な判定基準で5,227件の固有表現が抽出された。確かに言語モデルによっては、抽出された非 TAINS キーワードが相当な件数にのぼることから、その程度でも相当程度絞り込まれているといえよう⁽⁴⁾。しかし、たとえ新たな TAINS キーワード候補を「買取再販売」と定性的には同様なものに限るとしても、これらには「買取再販売」に類似していないものも多数含まれているため、新たな TAINS キーワードとするか検討する価値のより高い固有表現をこれらの中から更に洗い出す必要があるものと考えられた。そのため、上記抽出方法の③及び④のいわば定量的な判定基準に従うこととしたが、その試行結果は、下記(2)のとおりである。

(4) なお、モデルごとの固有表現の重複分を除いた総抽出件数、TAINS キーワード件数及び非 TAINS キーワード件数を「総抽出件数 (TAINS キーワード件数/非 TAINS キーワード件数)」の形式で示せば、次のとおりである：

1000_512モデル	40,648件 (37,330件/3,318件)
500_1024モデル	42,126件 (36,791件/5,335件)
200_2048モデル	48,838件 (35,221件/13,617件)
100_4096モデル	62,372件 (33,328件/29,044件)
50_8192モデル	68,932件 (30,183件/38,749件)

（２） 抽出条件

上記3の（２）の④で述べた基準となる「買取再販売」に係る割合と当該個有表現の抽出件数割合との許容すべき開差を判定基準としてどの程度に設定するかについては、いろいろな考え方があると思われるが、当然、当該開差を狭くすれば該当する分析結果は少なくなり、当該開差を広くすれば、該当する分析結果が増えるが、例えば、取り敢えず当該開差を上下5%程度として、BSLsが512件と1024件については、特に制限せず、2048件に係る抽出件数割合の範囲を35%～45%、4096件に係る抽出件数割合の範囲を45%～55%、そして、8192件に係る抽出件数割合の範囲を70%～80%とした場合には、次のような21件の固有表現が該当した（文字コード順であり、以下「分析結果（その1）」という。なお、詳細については、【別資料1】「分析結果（その1）」参照）：

異なる有利、加害公務員、決定的基準、元債権者、光熱水道費、公的団体、効能効果、砂代金、最高受給者、最低数、主たる居住用財産、前代表者個人、長期間精算、買取再販売、被検査者、被相続人利益の価額、非専従、不的確、不納入者、払戻超過額、優良農地

つぎに、上記開差を上下10%程度として、BSLsが512件と1024件については、同様に特に制限せず、2048件に係る抽出件数割合の範囲を30%～50%、4096件に係る抽出件数割合の範囲を40%～60%、そして、8192件に係る抽出件数割合の範囲を65%～85%とした場合には、次のような106件の固有表現が該当した（文字コード順であり、以下「分析結果（その2）」という。なお、詳細については【別資料2】「分析結果（その2）」参照）：

1棟の家屋、コロール州、ツアー行程表、ファシリティ契約、プレーカー設備、異なる画地、異なる財産、異なる分類、異なる有利、引湯設備、加害公務員、家産保護、過徴収金、管工事協同組合、基本データ、基本的基準、義務的修正申告書、義務的要素、客観状況、近傍地域、軽貨物、決定的基準、建材店、元

債権者、固定化債権、戸建住宅所有者、光熱水道費、公的見解の範囲、公的団体、効能効果、根抵当権の実行、根抵当権訴訟、砂代金、再調査決定取消し、最高受給者、最小分類、最大奥行距離、最低数、三当事者間、残置動産、磁気ファイル、自主納付額、実名義、借越金額、主たる居住用財産、主たる利用者、取扱業務、取付業者、商工会員、譲受価格、新会員証、新保険契約者、人権配慮教育、人的資本、人的信頼関係、人的努力、水産養殖、精神的要素、前税理士、前代表者個人、全株主、全取引金融機関、組立事業、相当経過、総支出金額、総税市、総組員、総売上、多重債務、貸付時、著しく過少、著しく健康、著しく不十分、長期間精算、二棟、日ソ協会費、配属状況、買取再販売、被検査者、被譲渡債権、被相続人利益の価額、非堅固な建物、非専従、不告知、不正常要素、不的確、不動産等に関する権利、不納入者、不必要過大、部内職員、払込行為、払込事実、払戻手続、払戻超過額、別件事業、別段取引、法執行、訪日旅行ツアー、防火管理、未換価、民事訴訟行為、優良農地、要徴収税額、裸傭船契約書、料飲税課税台帳、老令年金

おって、上記の各別資料のそれぞれの項目の内容について説明すれば、「順号等」欄には、粗選定対象とされた5,227件の固有表現内での順号と抽出されたモデルを表す。例えば、「異なる有利」の場合であれば、「[2934]・・・〇・・」とされていることから、2934番目の粗選定対象データであるものの、「1000_512モデル」、「500_1024モデル」、「200_2048モデル」では、そもそも抽出対象とされず、「100_4096モデル」で初めて抽出対象となり、「50_8192モデル」では抽出対象とされなかったという、やや不安的な抽出状況の事例であることが分かる。つぎに、「用語」欄には、当該固有表現の文字表現（テキスト）が表示されている。さらに、「SNLPs」欄には、BSLが512件、1024件、2048件、4096件及び8192件の場合の各SNLPにおけるそれぞれの抽出件数割合が表示されている。「異なる有利」の場合、それぞれの値は、「21.0%」、「39.0%」、「42.0%」、「54.0%」及び「74.0%」であり、BSLが8192件の場合の固有表現としての抽出件数割合が比較的高いにも関わらず、「50_8192モデル」では抽出対象とされず、

「100_4096モデル」でのみ抽出対象とされていることが分かる。このことから、一般的に特定の抽出モデルのみに頼った判定方法は不十分なし不安定である可能性があるといえよう。最後に、「所在等」欄には、当該固有表現の所在やトークンに分割される状況等が表示されている。なお、「分析結果（その1）」にも「分析結果（その2）」にも該当するような事例はないが、そもそもモデルごとの固有表現の初出位置（概要情報等）が異なり、更に各初出位置それぞれの「SNLPs」欄の値についても、合致しない場合が計110事例把握されている。そして、そのような場合には、「SNLPs」欄の値をそれらの複数の値の平均値に置き換えて分析を行っている。

（3）検討

イ 分析結果（その1）について

まず、「分析結果（その1）」について、判決文等で存在感がそれなりにあるように思われる用語についてみると、例えば、「光熱水道費」は、通常「水道光熱費」と呼ばれる費用を意味しているものと考えられ、本来は、水道光熱費に統一すべきものと考えられるものの、現に判決文（TAINS Z 0 3 8 - 1 3 2 9）で用いられている以上、システム上は「水道光熱費」と同等に取り扱うことができるようにする必要があるわけである。実際、当該判決に検索用に関連付けられた TAINS キーワードとしては、判決文にある「光熱水道費」ではなく、通常の「水道光熱費」が関連付けられており、検索漏れができるだけ生じないような配慮がなされている。

つぎに、「主たる居住用財産」については、本件裁決（TAINS J 4 5 - 4 - 0 1）の要旨のみで用いられており、本文では用いられていない用語であった。ただし、TAINS キーワードとして設定する意義がそれなりに感じられたことから、より厳密な用語検索が可能な LEX/DB インターネットの「税務判例総合検索（国税不服審判所裁決含む）」で検索したところ4件（令和5年11月現在、LEX/DB 21077900 [S58]、22003731 [H01]、28061091 [H10] 及び26100152 [H14]）が抽出された。当該結果からは、

用例は未だ乏しいものの、比較的新しい事件でも用いられていることから、居住用財産の譲渡所得の特例（措法35）関連のTAINSキーワードとして採用する意義がある程度認められるといえよう。

また、「不的確」については、該当裁決（TAINS J 5 4 - 4 - 2 0）の要旨において不動産鑑定評価書の記載が「不正確」である意味で用いられているものであるが、一般的な形容詞として用いられており、敢えてTAINSキーワードとする意義は乏しいといえよう。

さらに、「優良農地」については、「主たる居住用財産」の場合と同様に本件裁決（TAINS F 0 - 3 - 6 1 3）の要旨のみで用いられており、本文では用いられていない用語であった。ただし、LEX/DBインターネットで検索したところ2件（LEX/DB 22002394 [S62]、25532259 [H27]）が抽出された。したがって、「優良農地」については、「主たる居住用財産」よりも用例が更に少なく、課税要件との特段の関係性も認めにくいいため、TAINSキーワードとして採用する意義は乏しいといえよう。

したがって、以上の「分析結果（その1）」の検討の結論としては、「買取再販売」と同レベルのインパクトのあるTAINSキーワード候補とまではいえないものの、「主たる居住用財産」を把握することができたといえよう。

ロ 分析結果（その2）について

つぎに、「分析結果（その2）」についてみてみると、まず、「コロール州」、「管工事協同組合」、「総税市」（総務省自治税務局市町村税課）及び「日ソ協会費」については、むしろ本来的固有表現である固有名詞に分類できるため、TAINSキーワードとして採用する必要性は乏しいものと考えられる。

また、「総売上」（TAINS Z 1 6 5 - 6 1 6 7）、「二棟」（TAINS J 7 8 - 2 - 1 8）及び「老令年金」（TAINS Z 1 1 3 - 4 6 1 1）については、本来、それぞれ「売上金額全額」、「2棟」及び「老齡年金」とすべき事例であったものと考えられる。ちなみに、最後の事案に関連付けられたTAINSキーワードとしては、正しく「老齡年金」と補正されている。

さらに、以下の各用語（計26件）は、三つ以上のトークンによって構成されているか、あるいは、本来、三つ以上のトークンの用語として認識される必要があるものであり、少なくとも、TAINS キーワードとして採用すべき度合について二つのトークンのみの用語と単純に比較することは適当ではないであろう：

1 棟の家屋、異なる有利、戸建住宅所有者、公的見解の範囲、根抵当権の実行、根抵当権訴訟、再調査決定取消し、最大奥行距離、三当事者間、新会員証、人権配慮教育、前代表者個人、全取引金融機関、総支出金額、長期間精算、被検査者、被譲渡債権、被相続人利益の価額、非堅固な建物、不正要素、不動産等に関する権利、不納入者、訪日旅行ツアー、民事訴訟行為、裸傭船契約書、料飲税課税台帳

そうすると、残された比較検討すべき用語は、次の各用語（計68件）となるが、ここでは、取り敢えず、各用語について LEX/DB インターネット上で上記イと同様に検索した場合における抽出される事件数を [] 内に付記する（令和5年11月現在）：

ツアー行程表 [1]、ファシリティ契約 [1]、プレーカー設備 [0]、異なる画地 [4]、異なる財産 [11]、異なる分類 [0]、引湯設備 [2]、加害公務員 [8]、家産保護 [3]、過徴収金 [3]、基本データ [1]、基本的基準 [9]、義務的修正申告書 [2]、義務的要素 [1]、客観状況 [0]、近傍地域 [1]、軽貨物 [9]、決定的基準 [4]、建材店 [25]、元債権者 [2]、固定化債権 [7]、公的団体 [15]、効能効果 [10]、砂代金 [6]、最高受給者 [0]、最小分類 [1]、最低数 [6]、残置財産 [3]、磁気ファイル [1]、自主納付額 [2]、実名義 [35]、借越金額 [2]、主たる利用者 [8]、取扱業務 [12]、取付業者 [2]、商工会員 [71]、譲受価格 [34]、新保険契約者 [0]、人的資本 [11]、人的信頼関係 [37]、人的努力 [10]、水産養殖 [34]、精神的要素 [2]、前税理士 [9]、全株主 [62]、組立事業 [1]、相当経過 [9]、総組合員 [31]、多重債務 [35]、

貸付時 [66]、著しく過少 [73]、著しく健康 [6]、著しく不十分 [15]、配属状況 [0]、非専従 [3]、不告知 [26]、不必要過大 [1]、部内職員 [21]、払込行為 [8]、払込事実 [0]、払戻手続 [61]、払戻超過額 [2]、別件事業 [1]、別段取引 [2]、法執行 [26]、防火管理 [7]、未換価 [4]、要徴収税額 [2]

以上の結果から、仮に単純に上記の用例数が「10件以上であること」を採用基準とした場合には、次の各用語（計20件）が TAINS キーワードとしての採用候補となる。なお、その場合には、上記イの「主たる居住用財産」は、上記の用例数が4件であるため対象外となる：

著しく過少 [73]、商工会員 [71]、貸付時 [66]、全株主 [62]、払戻手続 [61]、人的信頼関係 [37]、実名義 [35]、多重債務 [35]、譲受価格 [34]、水産養殖 [34]、総組員 [31]、不告知 [26]、法執行 [26]、建材店 [25]、部内職員 [21]、著しく不十分 [15]、取扱業務 [12]、人的資本 [11]、効能効果 [10]、人的努力 [10]

おわりに

今回の検討では、租税判例の要旨等から自然言語処理ライブラリ (GiNZA) の AI 技術をベースとした固有表現抽出機能の汎化能力によって把握された多数の非 TAINS キーワードについて、偶然に発見された「買取再販売」という有望な TAINS キーワード候補のトークン列としての構造に着目して、バッチサイズやトレーニング回数が異なった複数の言語処理モデル（段階的抽出モデル）を用いて計算したトークン列に係る類似度の指標を用いることにより、当該 TAINS キーワード候補と類似したトークン構造を有する非 TAINS キーワードに絞り込みを行って、同様な TAINS キーワード候補を特定することを試みた。したがって、その手法は、飽くまでも発見的であって、新たな TAINS キーワード候補を網羅的あるいは組織的に抽出できるようなものではない。

筆者としては本稿のための検討を行うために相当の時間や資源を費やしたことから、それなりの成果が得られたものと信じたいが、仮に読者にもご納得頂けるような結果であったとしたら幸甚である。少なくとも、今回試行してみて実感できたことは、AI を利用したシステムから有効な結果を得るためには、相当の試行錯誤を覚悟しなければならないということである。

いずれにしても、読者が更に検討を深められる上で、本稿が何らかの参考になれば頗る幸いである。筆者としても、今後はAI と更に効率よく付き合えるようになるため、研鑽を積み重ねて参りたいと考えている。

【別資料1】分析結果(その1)

順号等	用語	SNLPS					所在等
		512	1024	2048	4096	8192	
[2934]・・・・〇	異なる有利	'21.0%	'39.0%	'42.0%	'54.0%	'74.0%	100_4096#17066(2479); (870, 875, 異なる有利)[平成28]国税庁訴責 Z 2 6 6 - 1 2 8 '74.0%]=>((870, 873, 異なる), (873, 875, 有利))[平成28]国税庁訴責 Z 2 6 6 - 1 2 8 3 2 (Z 2 6 5 - 1 2 7 2) (Z 8 8 8 - 2 0 9 8)
[2207]・・・・〇〇	加害公務員	'22.0%	'23.0%	'38.0%	'49.0%	'72.0%	100_4096#11240(1413); (333, 338, 加害公務員)[22.0%]; '23.0%'; '38.0%'; '49.0%'; '72.0%]=>((333, 335, 加害), (335, 338, 公務員)[平成17]コード番号 Z 9 9 9 - 8 1 2 2
[1193]・・・・〇〇〇	決定的基準	'20.0%	'27.0%	'35.0%	'54.0%	'71.0%	200_2048#17088(971); (815, 820, 決定的基準)[20.0%]; '27.0%'; '35.0%'; '54.0%'; '71.0%]=>((815, 818, 決定的), (818, 820, 基準))[平成28]国税庁訴責 Z 2 6 6 - 1 2 7 8 9 (Z 2 6 5 - 1 2 6 7 2) (Z 2 6 7 - 1 3 0 1 1)
[0451]・・・・〇〇	元債権者	'19.0%	'28.0%	'42.0%	'49.0%	'73.0%	500_1024#13447(255); (1009, 1013, 元債権者)[19.0%]; '28.0%'; '42.0%'; '49.0%'; '73.0%]=>((1009, 1010, 元), (1010, 1013, 債権者)[平成21]国税庁訴責 Z 2 5 9 - 1 1 2 6 4
[0552]・・・・〇〇〇	光熱水運費	'14.0%	'35.0%	'37.0%	'54.0%	'79.0%	200_2048#2665(16); (34, 39, 光熱水運費)[14.0%]; '35.0%'; '37.0%'; '54.0%'; '79.0%]=>((34, 36, 光熱), (36, 38, 水運), (38, 39, 費)[昭和39]国税庁訴責 Z 0 3 8 - 1 3 2 9 (Z 0 4 1 - 1 4 4 1) (Z 0 5 3 - 2 3 8 6)
[1977]・・・・〇〇	公的団体	'14.0%	'17.0%	'41.0%	'46.0%	'78.0%	100_4096#8919(1037); (1350, 1354, 公的団体)[14.0%]; '17.0%'; '41.0%'; '46.0%'; '78.0%]=>((1350, 1352, 公的), (1352, 1354, 団体)[平成12]国税庁訴責 Z 2 4 6 - 8 5 9 4 (Z 2 4 9 - 8 7 6 4) (Z 2 5 0 - 8 8 8 2)
[3121]・・・・〇〇	効能効果	'19.0%	'24.0%	'41.0%	'47.0%	'77.0%	100_4096#18922(2773); (487, 491, 効能効果)[19.0%]; '24.0%'; '41.0%'; '47.0%'; '77.0%]=>((487, 489, 効能), (489, 491, 効果)[令和]裁決事例集 J 1 1 5 - 2 - 0 7
[1875]・・・・〇	砂代金	'16.0%	'18.0%	'35.0%	'55.0%	'76.0%	100_4096#7707(878); (588, 561, 砂代金)[16.0%]; '18.0%'; '35.0%'; '55.0%'; '76.0%]=>((558, 560, 砂代), (560, 561, 金)[平成8]裁決事例集 J 5 1 - 3 - 2 5 【裁決事例集第51集429頁】
[0694]・・・・〇〇〇	最高受給者	'12.0%	'23.0%	'42.0%	'50.0%	'79.0%	200_2048#5635(220); (128, 133, 最高受給者)[12.0%]; '23.0%'; '42.0%'; '50.0%'; '79.0%]=>((128, 130, 最高), (130, 133, 受給者)[平成11]コード番号 F 0 - 2 - 8 4 0
[3984]・・・・〇	最低款	'9.0%	'27.0%	'45.0%	'47.0%	'74.0%	50_8192#9404(1696); (382, 385, 最低款)[9.0%]; '27.0%'; '45.0%'; '47.0%'; '74.0%]=>((382, 384, 最低), (384, 385, 款)[平成13]国税庁訴責 Z 2 5 0 - 8 8 2 3
[1790]・・・・〇〇	主たる居住用財産	'7.0%	'28.0%	'35.0%	'49.0%	'80.0%	100_4096#6827(748); (33, 41, 主たる居住用財産)[7.0%]; '28.0%'; '35.0%'; '49.0%'; '80.0%]=>((33, 36, 主たる), (36, 41, 居住用財産)[平成15]裁決事例集 J 4 5 - 4 - 0 1 【裁決事例集第45集267頁】

[1739]	前代表者個人	'14.0%	'21.0%	'43.0%	'53.0%	'78.0%	100_4096#6157(674): (104, 110, 前代表者個人)[14.0%, 21.0%, 43.0%, 53.0%, '78.0%]=>(104, 105, 前), (105, 108, 代表者), (108, 110, 個人)[平成3]国税庁新資 Z 1 8 2 - 6 6 5 4 (Z 1 7 5 - 6 4 3 5)
[0793]	長期間清算	'10.0%	'27.0%	'35.0%	'53.0%	'71.0%	200_2048#8754(366): (8, 13, 長期間清算)[10.0%, 27.0%, 35.0%, 53.0%, 71.0%]=>(8, 9, 長), (9, 11, 期間), (11, 13, 清算)[平成11]コード番号 F 0 - 2 - 0 7 6
[1255]	買取再販売	'12.0%	'19.0%	'38.0%	'51.0%	'76.0%	200_2048#18638(1066): (9, 14, 買取再販売)[12.0%, 19.0%, 38.0%, 51.0%, '76.0%]=>(9, 11, 買取), (11, 14, 再販売)[(令和1)国税庁新資 Z 2 6 9 - 1 3 3 2 5 (Z 2 6 9 - 1 3 3 2 6) (Z 8 8 8 - 2 3 5 9)]
[1575]	被検査者	'15.0%	'34.0%	'39.0%	'54.0%	'77.0%	100_4096#4150(419): (33, 37, 被検査者)[15.0%, 34.0%, 39.0%, 54.0%, 77.0%]=>(33, 34, 被), (34, 36, 検査), (36, 37, 者)[昭和59]国税庁新資 Z 1 3 6 - 5 3 4 0 (Z 1 5 3 - 5 7 5 9) (Z 1 6 5 - 6 1 7 9)
[1148]	被相続人利益の価額	'8.0%	'20.0%	'44.0%	'48.0%	'71.0%	200_2048#15924(894): (997, 1006, 被相続人利益の価額)[8.0%, 20.0%, 44.0%, 48.0%, '71.0%]=>(997, 998, 被), (998, 1001, 相続人), (1001, 1003, 利益), (1003, 1004, の), (1004, 1006, 価額)[平成25]コード番号 F 0 - 3 - 3 8 7
[1446]	非専従	'8.0%	'22.0%	'37.0%	'48.0%	'71.0%	100_4096#2605(229): (41, 44, 非専従)[8.0%, 22.0%, 37.0%, 48.0%, 71.0%]=>(41, 42, 非), (42, 44, 専従)[昭和53]コード番号 Z 9 9 9 - 0 2 0 2 (Z 9 9 9 - 0 2 0 3) (Z 9 9 9 - 0 2 0 4)
[1902]	不的確	'7.0%	'11.0%	'35.0%	'45.0%	'78.0%	100_4096#8010(916): (268, 271, 不的確)[7.0%, 11.0%, 35.0%, 45.0%, 78.0%]=>(268, 269, 不), (269, 271, 的確)[平成0]裁判例集 J 5 4 - 4 - 2 0 【裁判事例集第5.4集4.2.0頁】
[1954]	不納入者	'18.0%	'31.0%	'37.0%	'51.0%	'78.0%	100_4096#8623(1001): (66, 70, 不納入者)[18.0%, 31.0%, 37.0%, 51.0%, '78.0%]=>(66, 67, 不), (67, 69, 納入), (69, 70, 者)[平成11]コード番号 Z 9 9 9 - 5 0 2 2 (Z 9 9 9 - 5 0 2 1) (Z 9 9 9 - 5 0 2 3)
[2717]	私戻超過額	'14.0%	'17.0%	'36.0%	'53.0%	'73.0%	100_4096#15111(2171): (947, 952, 私戻超過額)[14.0%, 17.0%, 36.0%, 53.0%, '73.0%]=>(947, 949, 私戻), (949, 952, 超過額)[平成24]国税庁新資 Z 2 6 2 - 1 2 0 9 8 (Z 2 6 4 - 1 2 4 8 4) (Z 2 6 5 - 1 2 7 2 4)
[3042]	優良農地	'49.0%	'39.0%	'35.0%	'54.0%	'71.0%	100_4096#18304(2654): (901, 905, 優良農地)[49.0%, 39.0%, 35.0%, 54.0%, 71.0%]=>(901, 903, 優良), (903, 905, 農地)[平成30]コード番号 F 0 - 3 - 6 1 3

【別資料2】分析結果（その2）

< 1 >

順号等	用語	SNLPS					所在等
		512	1024	2048	4096	8192	
[0850] . . . ○○	1 棟の家産	'19.0%'	'36.0%'	'30.0%'	'50.0%'	'66.0%'	200_2048#9836(448):(1187, 1192, 1 棟の家産)[19.0%]; 36.0%; 30.0%; 50.0%; '66.0%']=>(<(1187, 1188, '1'), (1188, 1189, '棟'), (1189, 1190, 'の'), (1190, 1192, '家産'))[平成14国税庁新賃 Z 2 5 2 - 9 1 4 9
[1110] . . . ○○○	コロール州	'22.0%'	'33.0%'	'44.0%'	'49.0%'	'84.0%'	200_2048#14995(843):(355, 360, 'コロール州')[22.0%]; 33.0%; 44.0%; 49.0%; '84.0%']=>(<(355, 359, 'コロール'), (359, 360, '州'))[平成24国税庁新賃 Z 2 6 2 - 1 2 1 0 6 (Z 2 6 3 - 1 2 2 0 1) (Z 2 6 3 - 1 2 2 4 4)
[3050] . . . ○	ツアー行程表	'15.0%'	'15.0%'	'31.0%'	'40.0%'	'73.0%'	100_4096#18389(2668):(481, 487, 'ツアー行程表')[15.0%]; 15.0%; 31.0%; 40.0%; '73.0%']=>(<(481, 484, 'ツアー'), (484, 487, '行程表'))[平成30]コード番号 F 0 - 5 - 2 3 8
[1200] . . . ○○○	ファンリテイア契約	'14.0%'	'17.0%'	'34.0%'	'44.0%'	'76.0%'	200_2048#17290(982):(454, 463, 'ファンリテイア契約')[14.0%]; 17.0%; 34.0%; 44.0%; '76.0%']=>(<(454, 461, 'ファンリテイア'), (461, 463, '契約'))[平成28]裁決事例集 J 1 0 4 - 2 - 0 5
[1263] . . . ○○○	プレーカー設備	'21.0%'	'24.0%'	'43.0%'	'56.0%'	'83.0%'	200_2048#18812(1078):(1095, 1102, 'プレーカー設備')[21.0%]; 24.0%; 43.0%; 56.0%; '83.0%']=>(<(1095, 1100, 'プレーカー'), (1100, 1102, '設備'))[令和1]コード番号 F 0 - 2 - 9 9 0
[0913] . . . ○○○	異なる画地	'3.0%'	'34.0%'	'32.0%'	'47.0%'	'73.0%'	200_2048#10883(532):(1115, 1120, '異なる画地')[3.0%]; 34.0%; 32.0%; 47.0%; '73.0%']=>(<(1115, 1118, '異なる'), (1118, 1120, '画地'))[平成16]コード番号 Z 9 9 9 - 8 1 0 0 (Z 9 9 9 - 8 0 9 9) (Z 9 9 9 - 8 1 7 0)
[0423] . . . ○○○○	異なる財産	'56.0%'	'26.0%'	'44.0%'	'58.0%'	'83.0%'	500_1024#12295(207):(15, 20, '異なる財産')[56.0%]; 26.0%; 44.0%; 58.0%; '83.0%']=>(<(15, 18, '異なる'), (18, 20, '財産'))[平成18]コード番号 F 0 - 3 - 1 9 1
[2038] . . . ○○	異なる分類	'29.0%'	'18.0%'	'32.0%'	'57.0%'	'75.0%'	100_4096#9619(1140):(480, 485, '異なる分類')[29.0%]; 18.0%; 32.0%; 57.0%; '75.0%']=>(<(480, 483, '異なる'), (483, 485, '分類'))[平成13]コード番号 F 0 - 5 - 0 6 6
[2934] . . . ○	異なる権利	'21.0%'	'39.0%'	'42.0%'	'54.0%'	'74.0%'	100_4096#17066(2479):(870, 875, '異なる権利')[21.0%]; 39.0%; 42.0%; 54.0%; '74.0%']=>(<(870, 873, '異なる'), (873, 875, '権利'))[平成28]国税庁新賃 Z 2 6 6 - 1 2 8 3 2 (Z 2 6 5 - 1 2 7 2 7) (Z 8 8 8 - 2 0 9 8)
[1398] . . . ○○○	引揚設備	'24.0%'	'41.0%'	'47.0%'	'55.0%'	'78.0%'	100_4096#1890(159):(103, 107, '引揚設備')[24.0%]; 41.0%; 47.0%; 55.0%; '78.0%']=>(<(103, 105, '引揚'), (105, 107, '設備'))[昭和50]国税庁新賃 Z 0 8 1 - 3 5 8 2
[2207] . . . ○○	加害公務員	'22.0%'	'23.0%'	'38.0%'	'49.0%'	'72.0%'	100_4096#11240(1413):(333, 338, '加害公務員')[22.0%]; 23.0%; 38.0%; 49.0%; '72.0%']=>(<(333, 335, '加害'), (335, 338, '公務員'))[平成17]コード番号 Z 9 9 9 - 8 1 2 2
[0577] . . . ○○○	家産保護	'10.0%'	'16.0%'	'39.0%'	'46.0%'	'82.0%'	200_2048#2059(56):(152, 156, '家産保護')[10.0%]; 16.0%; 39.0%; 46.0%; '82.0%']=>(<(152, 154, '家産'), (154, 156, '保護'))[昭和50]裁決事例集 J 1 1 - 4 - 1 1

[2686] . . . ○○	過徴収金	'17.0%'	'22.0%'	'38.0%'	'58.0%'	'82.0%'	100_4096#14947(2123): (806, 810, '過徴収金')[17.0%]; '22.0%'; '38.0%'; '58.0%'; '82.0%'] => (<(806, 807, '過'), (807, 810, '徴収金'))[平成24]コード番号 Z 999 - 8315
[1501] . . . ○○	管工事協同組合	'9.0%'	'14.0%'	'32.0%'	'45.0%'	'71.0%'	100_4096#3327(306): (19, 26, '管工事協同組合')[9.0%]; '14.0%'; '32.0%'; '45.0%'; '71.0%'] => (<(19, 20, '管'), (20, 22, '工事'), (22, 26, '協同組合'))[昭和58]裁決事例集 J 21 - 2 - 05
[0999] . . . ○○○	基本丁一々	'44.0%'	'49.0%'	'49.0%'	'42.0%'	'67.0%'	200_2048#12626(665): (169, 174, '基本丁一々')[44.0%]; '49.0%'; '49.0%'; '42.0%'; '67.0%'] => (<(169, 171, '基本'), (171, 174, '丁一々'))[平成19]国税庁訴責 Z 257 - 10837 (Z 257 - 10632)
[2424] . . . ○○	基本的基準	'10.0%'	'22.0%'	'30.0%'	'53.0%'	'75.0%'	100_4096#12909(1741): (1013, 1018, '基本的基準')[10.0%]; '22.0%'; '30.0%'; '53.0%'; '75.0%'] => (<(1013, 1016, '基本部'), (1016, 1018, '基準'))[平成20]コード番号 Z 999 - 5136
[1904] . . . ○○	義務の修正申告書	'8.0%'	'15.0%'	'34.0%'	'53.0%'	'84.0%'	100_4096#8050(920): (779, 787, '義務の修正申告書')[8.0%]; '15.0%'; '34.0%'; '53.0%'; '84.0%'] => (<(779, 782, '義務的'), (782, 787, '修正申告書'))[平成02]裁決事例集 J 53 - 2 - 09
[1159] . . . ○○○	義務的要素	'9.0%'	'14.0%'	'31.0%'	'52.0%'	'74.0%'	200_2048#16133(911): (807, 812, '義務的要素')[9.0%]; '14.0%'; '31.0%'; '52.0%'; '74.0%'] => (<(807, 810, '義務的'), (810, 812, '要素'))[平成26]国税庁訴責 Z 777 - 2610
[2897] . . . ○○	客観状況	'8.0%'	'15.0%'	'31.0%'	'58.0%'	'74.0%'	100_4096#16802(2422): (647, 651, '客観状況')[8.0%]; '15.0%'; '31.0%'; '58.0%'; '74.0%'] => (<(647, 649, '客観'), (649, 651, '状況'))[平成27]コード番号 F 0 - 2 - 759
[2664] . . . ○○	近傍地域	'16.0%'	'20.0%'	'39.0%'	'47.0%'	'67.0%'	100_4096#14856(2095): (244, 248, '近傍地域')[16.0%]; '20.0%'; '39.0%'; '47.0%'; '67.0%'] => (<(244, 246, '近傍'), (246, 248, '地域'))[平成23]裁決事例集 J 83 - 4 - 21
[0733] . . . ○○	軽貨物	'13.0%'	'15.0%'	'32.0%'	'52.0%'	'72.0%'	200_2048#6959(275): (218, 221, '軽貨物')[13.0%]; '15.0%'; '32.0%'; '52.0%'; '72.0%'] => (<(218, 219, '軽'), (219, 221, '貨物'))[平成6]国税庁訴責 Z 201 - 7332 (Z 240 - 8354) (Z 247 - 8649)
[1193] . . . ○○○	決定的基準	'20.0%'	'27.0%'	'35.0%'	'54.0%'	'71.0%'	200_2048#17088(971): (815, 820, '決定的基準')[20.0%]; '27.0%'; '35.0%'; '54.0%'; '71.0%'] => (<(815, 818, '決定的'), (818, 820, '基準'))[平成28]国税庁訴責 Z 266 - 12789 (Z 265 - 12672) (Z 267 - 13011)
[1658] . . . ○○	建材店	'7.0%'	'12.0%'	'43.0%'	'74.0%'	'89.0%'	100_4096#5276(562): (128, 131, '建材店')[7.0%]; '12.0%'; '43.0%'; '74.0%'; '89.0%'] => (<(128, 130, '建材'), (130, 131, '店'))[昭和63]国税庁訴責 Z 164 - 6114 (Z 152 - 5725)
[0451] . . . ○○	元債権者	'19.0%'	'28.0%'	'42.0%'	'49.0%'	'73.0%'	500_1024#13447(255): (1009, 1013, '元債権者')[19.0%]; '28.0%'; '42.0%'; '49.0%'; '73.0%'] => (<(1009, 1010, '元'), (1010, 1013, '債権者'))[平成21]国税庁訴責 Z 259 - 11264
[1210] . . . ○○○	固定化債権	'15.0%'	'22.0%'	'30.0%'	'40.0%'	'78.0%'	200_2048#17495(957): (285, 290, '固定化債権')[15.0%]; '22.0%'; '30.0%'; '40.0%'; '78.0%'] => (<(285, 288, '固定化'), (288, 290, '債権'))[平成29]国税庁訴責 Z 267 - 13015

< 2 >

順号等	用語	SNLPS				所在等
		512	1024	2048	8192	
[1049] . . . 〇〇 .	戸建住宅所有者	'7.0%	'17.0%	'33.0%	'57.0%	200_2048#13821(754); (474, 481, 戸建住宅所有者)[7.0%, 17.0%, 33.0%, 57.0%, '83.0%]=>((474, 476, 戸建), (476, 478, 住宅), (478, 481, 所有者))[平成21]コード番号 F 0 - 3 - 3 6 9
[0552] . . . 〇〇〇	光熱水運費	'14.0%	'35.0%	'37.0%	'54.0%	200_2048#265(19); (34, 39, 光熱水運費)[14.0%, 35.0%, 37.0%, 54.0%, 79.0%]=>(34, 41 - 1 4 4 1) (Z 0 5 3 - 2 3 8 6)
[2008] . . . 〇〇	公的見解の範囲	'10.0%	'15.0%	'34.0%	'57.0%	100_4096#9309(1094); (342, 349, 公的見解の範囲)[10.0%, 15.0%, 34.0%, 57.0%, '76.0%]=>((342, 344, 公的), (344, 346, 見解), (346, 347, 的), (347, 349, 範囲))[平成13]国税庁新賃 Z 2 5 0 - 8 9 3 6 (Z 2 5 2 - 9 1 7 4) (Z 2 5 2 - 9 2 4 9)
[1977] . . . 〇〇	公的団体	'14.0%	'17.0%	'41.0%	'46.0%	100_4096#8919(1037); (1350, 1354, 公的団体)[14.0%, 17.0%, 41.0%, 46.0%, '78.0%]=>((1350, 1352, 公的), (1352, 1354, 団体))[平成12]国税庁新賃 Z 2 4 6 - 8 5 9 4 (Z 2 4 9 - 8 7 6 4) (Z 2 5 0 - 8 8 8 2)
[3121] . . . 〇〇	効能効果	'19.0%	'24.0%	'41.0%	'47.0%	100_4096#18922(773); (487, 491, 効能効果)[19.0%, 24.0%, 41.0%, 47.0%, '77.0%]=>((487, 489, 効能), (489, 491, 効果))[令和1]裁判事例集 J 1 1 5 - 2 - 0 7
[0710] . . . 〇〇 .	根拠当権の実行	'16.0%	'16.0%	'43.0%	'58.0%	200_2048#6313(241); (867, 874, 根拠当権の実行)[16.0%, 16.0%, 43.0%, 58.0%, '78.0%]=>((867, 868, 根), (868, 871, 担当権), (871, 872, 的), (872, 874, 実行))[平成4]国税庁新賃 Z 1 8 9 - 6 8 9 7 (Z 1 9 8 - 7 2 0 2) (Z 2 0 6 - 7 4 0 1)
[2753] . . . 〇〇	根拠当権訴訟	'9.0%	'16.0%	'31.0%	'55.0%	100_4096#15461(2318); (117, 123, 根拠当権訴訟)[9.0%, 16.0%, 31.0%, 55.0%, '69.0%]=>((117, 118, 根), (118, 121, 担当権), (121, 123, 訴訟))[平成24]コード番号 F 0 - 1 - 4 7 1
[1875] . . . 〇 .	砂代金	'16.0%	'18.0%	'35.0%	'55.0%	100_4096#7707(878); (558, 561, 砂代金)[16.0%, 18.0%, 35.0%, 55.0%, '76.0%]=>((558, 560, 砂代), (560, 561, 金))[平成8]裁判事例集 J 5 1 - 3 - 2 5 【裁判事例集第5集429頁】
[0286] 〇 . . . 〇 .	再調査決定取消し	'14.0%	'29.0%	'44.0%	'54.0%	1000_512#18676(286); (1163, 1171, 再調査決定取消し)[14.0%, 29.0%, 44.0%, 54.0%, '67.0%]=>((1163, 1164, 再), (1164, 1166, 調査), (1166, 1168, 決定), (1168, 1171, 取消し))[令和1]国税庁新賃 Z 2 6 9 - 1 3 3 1 1 (Z 2 6 9 - 1 3 2 5 7)
[0694] . . . 〇〇〇	最高受給者	'12.0%	'23.0%	'42.0%	'50.0%	200_2048#5635(220); (128, 133, 最高受給者)[12.0%, 23.0%, 42.0%, 50.0%, '79.0%]=>((128, 130, 最高), (130, 133, 受給者))[平成1]コード番号 F 0 - 2 - 8 4 0
[2234] . . . 〇〇	最小分類	'20.0%	'24.0%	'33.0%	'53.0%	100_4096#11363(1450); (1078, 1082, 最小分類)[20.0%, 24.0%, 33.0%, 53.0%, '83.0%]=>((1078, 1080, 最小), (1080, 1082, 分類))[平成17]国税庁新賃 Z 2 5 5 - 1 0 1 9 0 (Z 2 5 6 - 1 0 4 7 3)

[2390]	最大実行距離	'16.0%'	'27.0%'	'31.0%'	'47.0%'	'72.0%'	100_4096#12661(1695): (504, 510, 最大実行距離)[16.0%, 27.0%, 31.0%, 47.0%, 72.0%]=>((504, 506, 最大), (506, 508, 実行), (508, 510, 距離))[平成19]国税庁評議 Z 2 5 7 - 1 0 6 2 7 (Z 2 5 6 - 1 0 4 2 0)
[3984]	最低数	'9.0%'	'27.0%'	'45.0%'	'47.0%'	'74.0%'	50_8192#9404(1696): (382, 385, 最低数)[9.0%, 27.0%, 45.0%, 47.0%, 74.0%]=>((382, 384, 最低), (384, 385, 数))[平成13]国税庁評議 Z 2 5 0 - 8 8 2 3
[0613]	三当事者間	'17.0%'	'26.0%'	'30.0%'	'51.0%'	'75.0%'	200_2048#3435(106): (15, 20, 三当事者間)[17.0%, 26.0%, 30.0%, 51.0%, 75.0%]=>((15, 16, 三), (16, 19, 当事者), (19, 20, 間))[昭和56]国税庁評議 Z 1 2 0 - 4 8 5 6 (Z 1 2 3 - 4 9 9 2)
[2889]	残置動産	'26.0%'	'20.0%'	'35.0%'	'44.0%'	'71.0%'	100_4096#16737(2411): (193, 197, 残置動産)[26.0%, 20.0%, 35.0%, 44.0%, 71.0%]=>((193, 195, 残置), (195, 197, 動産))[平成27]裁判例集 J 1 0 1 - 2 - 0 5
[1104]	磁気ファイル	'31.0%'	'28.0%'	'44.0%'	'59.0%'	'83.0%'	200_2048#14914(835): (1037, 1043, 磁気ファイル)[31.0%, 28.0%, 44.0%, 59.0%, 83.0%]=>((1037, 1039, 磁気), (1039, 1043, ファイル))[平成24]国税庁評議 Z 2 6 2 - 1 2 9 3
[2204]	自主納付額	'20.0%'	'12.0%'	'35.0%'	'44.0%'	'79.0%'	100_4096#11208(1409): (1129, 1134, 自主納付額)[20.0%, 12.0%, 35.0%, 44.0%, 79.0%]=>((1129, 1131, 自主), (1131, 1134, 納付額))[平成16]コード番号 F 0 - 2 - 2 1
[0036]	実名義	'20.0%'	'17.0%'	'36.0%'	'46.0%'	'68.0%'	1000_512#3997(36): (471, 474, 実名義)[20.0%, 17.0%, 36.0%, 46.0%, 68.0%]=>((471, 472, 実), (472, 474, 名義))[昭和58]国税庁評議 Z 1 3 3 - 5 2 2 4 (Z 1 8 8 8 - 6 8 8 6) (Z 2 2 3 - 7 8 9 8)
[1809]	借越金額	'11.0%'	'17.0%'	'32.0%'	'52.0%'	'72.0%'	100_4096#6963(777): (598, 602, 借越金額)[11.0%, 17.0%, 32.0%, 52.0%, 72.0%]=>((598, 600, 借越), (600, 602, 金額))[平成6]国税庁評議 Z 2 0 5 - 7 3 8 7
[1790]	主たる居住用財産	'7.0%'	'28.0%'	'35.0%'	'49.0%'	'80.0%'	100_4096#6827(748): (33, 41, 主たる居住用財産)[7.0%, 28.0%, 35.0%, 49.0%, 80.0%]=>((33, 36, 主たる), (36, 41, 居住用財産))[平成15]裁判例集 J 4 5 - 4 - 0 1 【裁判例集第 4 5 集 2 6 7 頁】
[2106]	主たる利用者	'16.0%'	'22.0%'	'35.0%'	'57.0%'	'80.0%'	100_4096#10185(1244): (831, 837, 主たる利用者)[16.0%, 22.0%, 35.0%, 57.0%, 80.0%]=>((831, 834, 主たる), (834, 837, 利用者))[平成15]コード番号 Z 9 9 9 - 8 0 6 5 (Z 9 9 9 - 8 0 9 5) (Z 9 9 9 - 8 1 3 4)
[1142]	取扱業務	'11.0%'	'15.0%'	'32.0%'	'54.0%'	'77.0%'	200_2048#15865(885): (388, 392, 取扱業務)[11.0%, 15.0%, 32.0%, 54.0%, 77.0%]=>((388, 390, 取扱), (390, 392, 業務))[平成25]コード番号 F 0 - 1 - 5 3 4
[1510]	取付業者	'22.0%'	'29.0%'	'36.0%'	'57.0%'	'78.0%'	100_4096#3375(317): (182, 186, 取付業者)[22.0%, 29.0%, 36.0%, 57.0%, 78.0%]=>((182, 184, 取付), (184, 186, 業者))[昭和56]国税庁評議 Z 1 2 1 - 4 8 8 8
[1393]	商工会員	'38.0%'	'32.0%'	'49.0%'	'55.0%'	'74.0%'	100_4096#1872(154): (6, 10, 商工会員)[38.0%, 32.0%, 49.0%, 55.0%, 74.0%]=>((6, 8, 商工), (8, 10, 会員))[昭和50]国税庁評議 Z 0 8 0 - 3 5 1 2

< 3 >

順号等	用語	SNLPs					所在等
		512	1024	2048	4096	8192	
[0672]・・〇〇〇	譲受価格	'11.0%'	'16.0%'	'33.0%'	'59.0%'	'79.0%'	200_2048#6013(188): (126, 130, '譲受価格') 11.0%, '16.0%', '33.0%', '59.0%', '79.0%] => (126, 128, '譲受'), (128, 130, '価格') 固相62 国稅庁訴費 Z 1158-5926 (Z 154-5816) (Z 165-6134)
[0488]・〇・・〇	新会員証	'36.0%'	'39.0%'	'49.0%'	'58.0%'	'71.0%'	500_1024#16111(325): (478, 482, '新会員証') 36.0%, '39.0%', '49.0%', '58.0%', '71.0%] => (478, 479, '新'), (479, 481, '会費'), (481, 482, '証') 平成26 国稅庁訴費 Z 264-12502 (Z 2665-12596) (Z 266-12793)
[2891]・・・〇〇	新保険契約者	'8.0%'	'18.0%'	'32.0%'	'53.0%'	'72.0%'	100_4096#16742(2413): (1065, 1071, '新保険契約者') 8.0%, '18.0%', '32.0%', '53.0%', '72.0%] => (1065, 1066, '新'), (1066, 1071, '保険契約者') 平成27 コード番号 F 0-1-800
[1187]・・〇〇・	人権配慮教育	'12.0%'	'19.0%'	'32.0%'	'46.0%'	'68.0%'	200_2048#16989(960): (200, 206, '人権配慮教育') 12.0%, '19.0%', '32.0%', '46.0%', '68.0%] => (200, 202, '人権'), (202, 204, '配慮'), (204, 206, '教育') 平成28 国稅庁訴費 Z 266-12810
[1256]・・〇〇〇	人の資本	'8.0%'	'13.0%'	'32.0%'	'55.0%'	'83.0%'	200_2048#18655(1069): (319, 323, '人の資本') 8.0%, '13.0%', '32.0%', '53.0%', '83.0%] => (319, 321, '人の'), (321, 323, '資本') 令和1 国稅庁訴費 Z 269-13330 (Z 270-13408)
[0589]・・〇〇〇	人の信頼関係	'20.0%'	'29.0%'	'32.0%'	'58.0%'	'67.0%'	200_2048#2605(74): (198, 204, '人の信頼関係') 20.0%, '29.0%', '32.0%', '58.0%', '67.0%] => (198, 200, '人の'), (200, 204, '信頼関係') 昭和63 コード番号 Z 999-0202 (Z 999-0203) (Z 999-0204)
[1917]・・・〇〇	人の努力	'19.0%'	'20.0%'	'36.0%'	'57.0%'	'80.0%'	100_4096#8207(943): (1734, 1738, '人の努力') 19.0%, '20.0%', '36.0%', '57.0%', '80.0%] => (1734, 1736, '人の'), (1736, 1738, '努力') 平成10 国稅庁訴費 Z 239-8300 (Z 232-8187) (Z 243-8437)
[1262]・・〇〇〇	水産養殖	'15.0%'	'26.0%'	'47.0%'	'54.0%'	'81.0%'	200_2048#18804(1077): (381, 385, '水産養殖') 15.0%, '26.0%', '47.0%', '54.0%', '81.0%] => (381, 383, '水産'), (383, 385, '養殖') 令和1 裁決事例集 J 115-2-08
[3025]・・・〇〇	精神的強素	'7.0%'	'9.0%'	'31.0%'	'42.0%'	'79.0%'	100_4096#18084(2629): (1082, 1087, '精神的要素') 7.0%, '9.0%', '31.0%', '42.0%', '79.0%] => (1082, 1085, '精神的'), (1085, 1087, '要素') 平成30 コード番号 Z 999-7208 (Z 999-7205)
[2422]・・・〇〇	前税理士	'33.0%'	'25.0%'	'33.0%'	'57.0%'	'78.0%'	100_4096#12905(1739): (502, 506, '前税理士') 33.0%, '25.0%', '33.0%', '57.0%', '78.0%] => (502, 503, '前'), (503, 506, '税理士') 平成20 コード番号 Z 999-0136
[1739]・・・〇・	前代表者個人	'14.0%'	'21.0%'	'43.0%'	'53.0%'	'78.0%'	100_4096#6157(674): (104, 110, '前代表者個人') 14.0%, '21.0%', '43.0%', '53.0%', '78.0%] => (104, 105, '前'), (105, 108, '代表者'), (108, 110, '個人') 平成3 国稅庁訴費 Z 182-6654 (Z 175-6435)
[2172]・・・〇・	全株主	'10.0%'	'31.0%'	'45.0%'	'58.0%'	'77.0%'	100_4096#10885(1363): (707, 710, '全株主') 10.0%, '31.0%', '45.0%', '58.0%', '77.0%] => (707, 708, '全'), (708, 710, '株主') 平成16 国稅庁訴費 Z 254-9761 (Z 254-9523) (Z 257-10667)

[3100]	全取引金融機関	'10.0%'	'20.0%'	'30.0%'	'49.0%'	'81.0%'	100_4096#18789(2741): (689, 696, '全取引金融機関') [10.0%, '20.0%', '30.0%', '49.0%', '81.0%'] => (<689, 690, '全'), (690, 692, '取引'), (692, 696, '金融機関') [令和1]コード番号 F 0 - 3 - 6 7 7
[2208]	組立事業	'13.0%'	'28.0%'	'37.0%'	'52.0%'	'81.0%'	100_4096#11243(1414): (9, 13, '組立事業') [13.0%, '28.0%', '37.0%', '52.0%', '81.0%'] => (9, 11, '組立'), (11, 13, '事業') [平成17]国税庁新賃 Z 2 5 5 - 1 0 2 1 1
[0805]	相当経過	'17.0%'	'37.0%'	'39.0%'	'45.0%'	'67.0%'	200_2048#9005(382): (254, 258, '相当経過') [17.0%, '37.0%', '39.0%', '45.0%', '67.0%'] => (<254, 256, '相当'), (256, 258, '経過') [平成12]国税庁新賃 Z 2 4 6 - 8 6 0 4
[0074] ○ . ○ ○ ○	総支出金額	'48.0%'	'47.0%'	'44.0%'	'58.0%'	'65.0%'	1000_512#7298(74): (1544, 1549, '総支出金額') [48.0%, '47.0%', '44.0%', '58.0%', '65.0%'] => (<1544, 1545, '総'), (1545, 1547, '支出'), (1547, 1549, '金額') [平成17]国税庁新賃 Z 2 1 4 - 7 5 9 8 (Z 2 0 6 - 4 3 0)
[3106]	総税市	'15.0%'	'16.0%'	'34.0%'	'48.0%'	'73.0%'	100_4096#18824(2752): (427, 430, '総税市') [15.0%, '16.0%', '34.0%', '48.0%', '73.0%'] => (<427, 428, '税'), (428, 429, '税'), (429, 430, '市') [令和1]コード番号 F 0 - 7 - 0 3 0
[0787] . . . ○ ○ ○	総組合員	'14.0%'	'33.0%'	'34.0%'	'59.0%'	'68.0%'	200_2048#8583(357): (620, 624, '総組合員') [14.0%, '33.0%', '34.0%', '59.0%', '68.0%'] => (<620, 621, '総'), (621, 624, '組合員') [平成11]国税庁新賃 Z 2 4 0 - 8 3 2 2
[1649]	総売上	'8.0%'	'15.0%'	'30.0%'	'49.0%'	'81.0%'	100_4096#5202(551): (573, 576, '総売上') [8.0%, '15.0%', '30.0%', '49.0%', '81.0%'] => (<573, 574, '総'), (574, 576, '売上') [昭和63]国税庁新賃 Z 1 6 5 - 6 1 6 7 (Z 1 7 6 - 6 5 2 1) (Z 1 8 0 - 6 5 6 0)
[2790]	多重債務	'18.0%'	'35.0%'	'49.0%'	'58.0%'	'84.0%'	100_4096#15777(2270): (487, 491, '多重債務') [18.0%, '35.0%', '49.0%', '58.0%', '84.0%'] => (<487, 489, '多重'), (489, 491, '債務') [平成28]国税庁新賃 Z 2 6 3 - 1 2 3 3 3 (Z 2 6 3 - 1 2 2 4 7) (Z 2 6 4 - 1 2 3 8 3)
[2595]	貸付時	'9.0%'	'17.0%'	'35.0%'	'51.0%'	'65.0%'	100_4096#14244(1989): (127, 130, '貸付時') [9.0%, '17.0%', '35.0%', '51.0%', '65.0%'] => (<127, 129, '貸付'), (129, 130, '時') [平成22]コード番号 F 0 - 5 - 1 1 9
[0697] . . . ○ ○ ○	著しく過少	'16.0%'	'18.0%'	'32.0%'	'57.0%'	'84.0%'	200_2048#5678(224): (1298, 1303, '著しく過少') [16.0%, '18.0%', '32.0%', '57.0%', '84.0%'] => (<1298, 1301, '著しく'), (1301, 1303, '過少') [平成1]コード番号 F 0 - 2 - 7 9 0
[1529]	著しく健康	'18.0%'	'22.0%'	'35.0%'	'57.0%'	'85.0%'	100_4096#3620(346): (180, 185, '著しく健康') [18.0%, '22.0%', '35.0%', '57.0%', '85.0%'] => (<180, 183, '著しく'), (183, 185, '健康') [昭和156]裁決事例集 J 2 2 - 9 - 0 5
[0461] . ○ ○ ○ ○	著しく不十分	'29.0%'	'35.0%'	'43.0%'	'58.0%'	'67.0%'	500_1024#14164(276): (771, 777, '著しく不十分') [29.0%, '35.0%', '43.0%', '58.0%', '67.0%'] => (<771, 774, '著しく'), (774, 777, '不十分') [平成22]コード番号 Z 9 9 9 - 6 0 6 9 (Z 9 9 9 - 6 0 4 2) (Z 9 9 9 - 6 0 6 8)
[0793]	長期間精算	'10.0%'	'27.0%'	'35.0%'	'53.0%'	'71.0%'	200_2048#8754(366): (8, 13, '長期間精算') [10.0%, '27.0%', '35.0%', '53.0%', '71.0%'] => (8, 9, '長'), (9, 11, '期間'), (11, 13, '精算') [平成11]コード番号 F 0 - 2 - 0 7 6

< 4 >

順号等	用語	SNLPS					所在等
		512	1024	2048	4096	8192	
[2525] . . . ○○	二棟	'24.0%'	'38.0%'	'33.0%'	'57.0%'	'84.0%'	100_4096#13689(1886): (137, 139, '二棟') [24.0%, '38.0%', '33.0%', '57.0%', '84.0%]=>(137, 138, '二'), (138, 139, '棟') [平成21] 裁判事例集 J 7 8 - 2 - 1 8
[0020] ○ . ○○○	日ノ協会費	'44.0%'	'40.0%'	'39.0%'	'59.0%'	'80.0%'	1000_512#2166(20): (22, 27, '日ノ協会費') [44.0%, '40.0%', '39.0%', '59.0%', '80.0%]=>(22, 24, '日ノ'), (24, 26, '協会'), (26, 27, '費') [昭和51] 国税庁新賃 Z 0 9 0 - 3 8 6
[2978] . . . ○○	配属状況	'16.0%'	'21.0%'	'38.0%'	'54.0%'	'66.0%'	100_4096#17675(2554): (813, 817, '配属状況') [16.0%, '21.0%', '38.0%', '54.0%', '66.0%]=>(813, 815, '配属'), (815, 817, '状況') [平成29] コード番号 F 0 2 - 7 1 9
[1255] . . . ○○○	買取再販売	'12.0%'	'19.0%'	'38.0%'	'51.0%'	'76.0%'	200_2048#18638(1066): (9, 14, '買取再販売') [12.0%, '19.0%', '38.0%', '51.0%', '76.0%]=>(9, 11, '買取'), (11, 14, '再販売') [令和1] 国税庁新賃 Z 2 6 9 - 1 3 3 2 5 (Z 2 6 9 - 1 3 2 6) (Z 8 8 8 - 2 3 5 9)
[1575] . . . ○○	被検査者	'15.0%'	'34.0%'	'39.0%'	'54.0%'	'77.0%'	100_4096#4150(419): (33, 37, '被検査者') [15.0%, '34.0%', '39.0%', '54.0%', '77.0%]=>(33, 34, '被'), (34, 36, '検査'), (36, 37, '者') [昭和59] 国税庁新賃 Z 1 3 6 - 5 3 4 0 (Z 1 5 3 - 5 7 5 9) (Z 1 6 5 - 6 1 7 9)
[2559] . . . ○○	被譲渡債権	'10.0%'	'14.0%'	'37.0%'	'48.0%'	'65.0%'	100_4096#13924(1938): (367, 372, '被譲渡債権') [10.0%, '14.0%', '37.0%', '48.0%', '65.0%]=>(367, 368, '被'), (368, 370, '譲渡'), (370, 372, '債権') [平成22] コード番号 Z 9 9 - 6 0 9 1
[1148] . . . ○○○	被相続人利益の価額	'8.0%'	'20.0%'	'44.0%'	'48.0%'	'71.0%'	200_2048#15924(894): (997, 1006, '被相続人利益の価額') [8.0%, '20.0%', '44.0%', '48.0%', '71.0%]=>(997, 998, '被'), (998, 1001, '相続人'), (1001, 1003, '利益'), (1003, 1004, 'の'), (1004, 1006, '価額') [平成29] コード番号 F 0 - 3 - 3 8 7
[2041] . . . ○ . ○	非堅固な建物	'12.0%'	'19.0%'	'32.0%'	'47.0%'	'72.0%'	100_4096#9620(1143): (192, 198, '非堅固な建物') [12.0%, '19.0%', '32.0%', '47.0%', '72.0%]=>(192, 193, '非'), (193, 195, '堅固'), (195, 196, 'な'), (196, 198, '建物') [平成13] コード番号 F 0 - 3 - 0 1 0
[1446] . . . ○○	非専従	'8.0%'	'22.0%'	'37.0%'	'48.0%'	'71.0%'	100_4096#2605(229): (41, 44, '非専従') [8.0%, '22.0%', '37.0%', '48.0%', '71.0%]=>(41, 42, '非'), (42, 44, '専従') [昭和53] コード番号 Z 9 9 9 - 0 2 0 2 (Z 9 9 9 - 0 2 0 3) (Z 9 9 9 - 0 2 0 4)
[1885] . . . ○○	不告知	'18.0%'	'18.0%'	'35.0%'	'46.0%'	'81.0%'	100_4096#7824(889): (281, 284, '不告知') [18.0%, '18.0%', '35.0%', '46.0%', '81.0%]=>(281, 282, '不'), (282, 284, '告知') [平成9] 国税庁新賃 Z 2 2 9 - 8 0 3 7 (Z 2 3 9 - 8 3 1 4)
[0882] . . . ○ . ○	不正常要素	'28.0%'	'44.0%'	'43.0%'	'59.0%'	'79.0%'	200_2048#10372(492): (262, 267, '不正常要素') [28.0%, '44.0%', '43.0%', '59.0%', '79.0%]=>(262, 263, '不'), (263, 265, '正常'), (265, 267, '要素') [平成15] コード番号 Z 9 9 - 8 0 9 3 (Z 9 9 9 - 8 0 3 6)
[1902] . . . ○○○	不的確	'7.0%'	'11.0%'	'35.0%'	'45.0%'	'78.0%'	100_4096#8010(916): (268, 271, '不的確') [7.0%, '11.0%', '35.0%', '45.0%', '78.0%]=>(268, 269, '不'), (269, 271, '的確') [平成10] 裁判事例集 J 5 4 - 4 - 2 0 【裁判事例集第5 4 集 4 2 0 頁】
[1144] . . . ○ . ○ . ○	不動産等に関する権利	'42.0%'	'39.0%'	'47.0%'	'51.0%'	'66.0%'	200_2048#15901(888): (333, 343, '不動産等に関する権利') [42.0%, '39.0%', '47.0%', '51.0%', '66.0%]=>(333, 334, '不'), (334, 336, '動産'), (336, 337, '等'), (337, 338, 'に'), (338, 341, '関する'), (341, 343, '権利') [平成25] コード番号 F 0 - 6 - 0 0 7

[1954] . . . ○○	不納入者	'18.0%'	'31.0%'	'37.0%'	'51.0%'	'78.0%'	100_409#8623(1001):(66,70,不納入者)「18.0%,31.0%,37.0%,51.0%,78.0%」=>((66,67,不),67,69,納入),(69,70,不)「平成11」コード番号 Z 9 9 9 - 5 0 2 (Z 9 9 9 - 5 0 2 1) (Z 9 9 9 - 5 0 2 2) (Z 9 9 9 - 5 0 2 3)
[0621] . . . ○○○	不必要過大	'18.0%'	'21.0%'	'37.0%'	'44.0%'	'73.0%'	200_2048#3635(110):(2284,2289,不必要過大)「18.0%,21.0%,37.0%,44.0%,73.0%」=>((2284,2287,不必要),2287,2289,過大)「昭和57」コード番号 Z 9 9 9 - 9 0 7 2
[1242] . . . ○○○	部内職員	'11.0%'	'11.0%'	'31.0%'	'56.0%'	'80.0%'	200_2048#18313(1044):(940,944,部内職員)「11.0%,11.0%,31.0%,56.0%,80.0%」=>((940,942,部内),(942,944,職員)「平成30」)コード番号 F 0 - 1 - 9 4 3
[0829] . . . ○○○	私込行為	'12.0%'	'17.0%'	'35.0%'	'59.0%'	'85.0%'	200_2048#9473(417):(1685,1689,私込行為)「12.0%,17.0%,35.0%,59.0%,85.0%」=>((1685,1687,私込),(1687,1689,行為)「平成13」)国税庁訴責 Z 2 5 1 - 8 9 4 2 (Z 2 4 9 - 8 7 8 8)
[0647] . . . ○○○	私込事実	'18.0%'	'18.0%'	'41.0%'	'53.0%'	'84.0%'	200_2048#4349(153):(220,224,私込事実)「18.0%,18.0%,41.0%,53.0%,84.0%」=>((220,222,私込),(222,224,事実)「昭和59」)裁判例集 J 2 7 - 3 - 0 1
[2410] . . . ○○	私戻手続	'14.0%'	'17.0%'	'30.0%'	'52.0%'	'76.0%'	100_4096#12851(1723):(434,438,私戻手続)「14.0%,17.0%,30.0%,52.0%,76.0%」=>((434,436,私戻),(436,438,手続)「平成19」)コード番号 F 0 - 3 - 3 1 5
[2717] . . . ○○	私戻過額	'14.0%'	'17.0%'	'36.0%'	'53.0%'	'73.0%'	100_4096#15111(2171):(947,952,私戻超過額)「14.0%,17.0%,36.0%,53.0%,73.0%」=>((947,949,私戻),(949,952,超過額)「平成24」)国税庁訴責 Z 2 6 2 - 1 2 0 9 8 (Z 2 6 4 - 1 2 4 8 4) (Z 2 6 5 - 1 2 7 2 4)
[0944] . . . ○○○	別件事業	'17.0%'	'29.0%'	'30.0%'	'46.0%'	'74.0%'	200_2048#11769(584):(228,232,別件事業)「17.0%,29.0%,30.0%,46.0%,74.0%」=>((228,230,別件),(230,232,事業)「平成17」)コード番号 F 0 - 1 - 2 3 4
[2067] . . . ○○	別段取引	'21.0%'	'26.0%'	'44.0%'	'43.0%'	'67.0%'	100_4096#9835(1183):(1042,1046,別段取引)「21.0%,26.0%,44.0%,43.0%,67.0%」=>((1042,1044,別段),(1044,1046,取引)「平成14」)コード番号 Z 9 9 9 - 7 0 6 1
[1007] . . . ○○	法執行	'18.0%'	'26.0%'	'42.0%'	'44.0%'	'66.0%'	200_2048#12888(682):(2090,2093,法執行)「18.0%,26.0%,42.0%,44.0%,66.0%」=>((2090,2091,法),(2091,2093,執行)「平成20」)国税庁訴責 Z 2 5 8 - 1 0 8 6 3 (Z 2 5 8 - 1 0 9 8 7)
[1170] . . . ○○	訪日旅行ツアー	'10.0%'	'23.0%'	'32.0%'	'56.0%'	'79.0%'	200_2048#16503(928):(34,41,訪日旅行ツアー)「10.0%,23.0%,32.0%,56.0%,79.0%」=>((34,36,訪日),(36,38,旅行),(38,41,ツアー)「平成27」)国税庁訴責 Z 2 6 5 - 1 2 6 4 1 (Z 2 6 6 - 1 2 7 9 7) (Z 2 6 7 - 1 2 9 7 5)
[2486] . . . ○○	防火管理	'17.0%'	'29.0%'	'30.0%'	'54.0%'	'84.0%'	100_4096#13336(1830):(878,882,防火管理)「17.0%,29.0%,30.0%,54.0%,84.0%」=>((878,880,防火),(880,882,管理)「平成20」)コード番号 F 0 - 1 - 3 0 9
[1024] . . . ○○○	未換面	'37.0%'	'32.0%'	'33.0%'	'54.0%'	'76.0%'	200_2048#13231(709):(1075,1078,未換面)「37.0%,32.0%,33.0%,54.0%,76.0%」=>((1075,1076,未),(1076,1078,換面)「平成20」)コード番号 F 0 - 1 - 3 1 4
[1556] . . . ○○	民事訴訟行為	'11.0%'	'19.0%'	'36.0%'	'48.0%'	'67.0%'	100_4096#3954(389):(885,891,民事訴訟行為)「11.0%,19.0%,36.0%,48.0%,67.0%」=>((885,887,民事),(887,889,訴訟),(889,891,行為)「昭和58」)国税庁訴責 Z 1 3 4 - 5 2 7 5 (Z 1 4 7 - 5 6 4 7) (Z 1 6 3 - 6 0 5 1)

< 5 >

順号等	用語	SNLPs					所在等
		512	1024	2048	4096	8192	
[3042]・・・・〇〇	優良農地	'49.0%'	'39.0%'	'35.0%'	'54.0%'	'71.0%'	100_4096#18304(265f): (901, 905, '優良農地')149.0%; (39.0%, '39.0%'; '35.0%'; '54.0%'; '71.0%')=>((901, 903, '優良'), 903, 905, '農地')平成30)コード番号 F 0 - 3 - 6 1 3
[0801]・・・・〇〇〇	要徴収総額	'15.0%'	'34.0%'	'36.0%'	'44.0%'	'77.0%'	200_2048#8925(378): (539, 544, '要徴収総額')15.0%; '34.0%'; '36.0%'; '44.0%'; '77.0%')=>((539, 540, '要'), (540, 544, '徴収総額'))平成12)国税庁調査 Z 2 4 9 - 8 7 5 4 (Z 2 5 0 - 8 9 2 4) (Z 2 5 1 - 8 9 6 0)
[2528]・・・・〇〇	裸備加徴約書	'8.0%'	'18.0%'	'31.0%'	'56.0%'	'78.0%'	100_4096#13706(189f): (413, 419, '裸備加徴約書')8.0%; '18.0%'; '31.0%'; '56.0%'; '78.0%')=>((413, 414, '裸'), (414, 416, '備給'), (416, 419, '要約書'))平成21)歳決事例集 J 7 7 - 2 - 1 2
[1444]・・・・〇〇	料款税課税台帳	'9.0%'	'16.0%'	'36.0%'	'43.0%'	'82.0%'	100_4096#2582(227): (400, 407, '料款税課税台帳')9.0%; '16.0%'; '36.0%'; '43.0%'; '82.0%')=>((400, 402, '料款'), (402, 403, '税'), (403, 405, '課税'), (405, 407, '台帳'))昭和53)国税庁調査 Z 1 0 2 - 4 2 4 2
[0325]・〇〇〇〇	老令年金	'17.0%'	'28.0%'	'35.0%'	'48.0%'	'81.0%'	500_1024#3232(38): (0, 4, '老令年金')17.0%; '28.0%'; '35.0%'; '48.0%'; '81.0%')=>((0, 2, '老令'), (2, 4, '年金'))昭和55)国税庁調査 Z 1 1 3 - 4 6 1 1 (Z 1 0 6 - 4 4 5 3) (Z 1 1 6 - 4 7 3 2)